

第 124 回 CSR 研究部会議事概要

日時：2016 年 4 月 12 日（火）18:00～19:30

場所：電力中央研究所大手町地区第 2 会議室

出席者；（順不同、敬称略）：古谷、田中、水尾、三橋（ハウス食品グループ）、宮崎（東洋製罐 GHD）、志方（アスクル）、吉田、荻野、明石、林、山田、平塚、西藤、川瀬、本橋、福田、長谷川、蟻生

主な議事：

- 1) 中央大学総合政策研究所客員研究員、サステナビリティ消費者代表、古谷由紀子氏より、「国連による SDGs（持続可能な開発目標）採択と CSR へのインパクト」（関連資料：http://ungejn.org/ge/pdf/SDG_COMPASS_Jpn_0318_30P.pdf）をテーマに報告があり、関連する質疑応答、議論を行った。
- 2) 水尾先生より、自身が委員をつとめた消費者庁の「公益通報者保護制度の実効性の向上に関する検討会」の第一次報告書（<http://www.caa.go.jp/planning/koueki/chosa-kenkyu/koujou.html#m10>）の内容のポイント、今後の検討課題などについて報告があった。
- 3) 平塚氏より、平成 27 年度における当部会の会計報告があり、水尾先生から、年度残額については今後も過年度と同様に 4 万円程度の水準以下となるよう運営していくと良いとのコメントがあった。この後、出席者全員により、会計報告が承認されるとともに、このコメントの通り運営していくことが支持された。
- 4) 次回部会は、5 月 10 日（火）18:00～電力中央研究所大手町地区第 2 会議室にて開催する。報告者は、『渋沢栄一に学ぶ「論語と算盤」の経営』の著者による執筆章の紹介の第 1 弾として、吉田先生、箕輪先生、北村先生、三嶋先生、平野先生らを予定している。